

人間ドック検査項目詳細

○ … セット検査 △ … オプション検査 — … 検査なし

検査項目		1日	2日	詳細
一般診察		○	○	ドック担当医師が診察します。
身体測定		○	○	身長・体重・腹囲を測定し、太りすぎ・やせすぎ・体脂肪の程度を調べます。
腹囲測定		○	○	
肥満度(BMI)		○	○	
呼吸器	胸部ヘリカルCT	○	○	単純X線写真では認識できないような早期肺がんの発見に有効です。
	肺機能検査	○	○	肺活量等を測定し、換気障害の有無を調べます。
	かく痰細胞診検査	△	△	早期の肺・気管支部分のがんの発見に有効です。
循環器	血圧	○	○	生活習慣病の1つである高血圧症を調べます。
	心電図検査(安静時)	○	○	不整脈や心筋梗塞、刺激伝導の異常などを調べます。
消化器	胃内視鏡検査(経鼻)	○	○	内視鏡によって食道・胃・十二指腸の病気の有無を調べます。
	大腸内視鏡検査	—	△	内視鏡によって大腸の病気の有無を調べます。
	便潜血反応検査	○	○	肉眼ではわからない消化管からの出血の有無を調べます。
	ヘリコバクター・ピロリ抗体検査	△	△	ピロリ菌感染の有無を調べます。
	胃がんリスク層別化検査(ABC分類)	△	△	血液検査により、ピロリ菌感染の有無と胃粘膜萎縮状態を組み合わせ、胃がん発生のリスクを判定します。
腹部超音波検査		○	○	肝臓、すい臓、腎臓、胆のうの異常を調べます。
肝機能	総ビリルビン	○	○	肝臓で作られる黄色い色素で、肝臓等に障害が生じると高値を示し、黄疸等が起こります。
	ALP	○	○	肝臓や小腸、骨等から作られる酵素で、これらの臓器に異常があると血液中に流れ出ます。
	GOT(AST)	○	○	肝臓や心臓等に含まれる酵素で、これらの臓器に障害が生じて細胞が壊れると高値を示します。急性肝炎、心筋梗塞等が疑われます。
	GPT(ALT)	○	○	
	LDH	○	○	糖がエネルギーに変わるときに働く酵素で、心筋や肝臓、骨格筋の組織が破壊されたときに高値を示します。
	γ-GTP	○	○	たんぱく質を分解する酵素で、アルコール性肝障害等で高値を示します。
	総蛋白	○	○	血液中のたんぱく質の総量を表し、肝機能や腎機能に障害が起こると値が変動します。
腎機能	尿素窒素	○	○	体内でエネルギー源として使用されたたんぱく質の燃えカスで、腎機能が悪くなると高値を示します。
	クレアチニン	○	○	
	尿一般検査	○	○	蛋白、潜血、糖、ウロビリノーゲン定性(肝臓で作られるビリルビンからできる物質。肝障害の有無の目安)を調べます。
	糸球体濾過値(eGFR)	○	○	慢性腎臓病の早期発見に有効です。
	尿酸	○	○	プリン体が代謝された後の老廃物で、増えすぎると痛風や尿路結石の原因となります。
	尿沈渣	○	○	赤血球、白血球、円柱(腎臓の変性した細胞が固まったもの)、細菌の有無を調べます。
電解質	ナトリウム	○	○	高血圧や腎機能障害などを調べます。
	カリウム	○	○	
	カルシウム	○	○	
脂質系	総コレステロール	○	○	血液中にはコレステロールという脂質が含まれており、ホルモンや細胞膜を作る働きがあります。増えすぎると動脈硬化を進行させます。
	HDL-コレステロール	○	○	善玉コレステロールと呼ばれ、悪玉コレステロールを取り除く働きがあります。少ないと動脈硬化の危険が高くなります。
	LDL-コレステロール	○	○	悪玉コレステロールと呼ばれ、多すぎると動脈硬化や心筋梗塞を引き起こします。
	nonHDL-コレステロール	○	○	総コレステロールから善玉コレステロールを除いた値で、動脈硬化のリスクを調べます。
	中性脂肪	○	○	体内でもっとも多い脂肪で、値が高いと動脈硬化を進行させます。

検査項目			1日	2日	詳細
甲状腺機能検査			△	○	甲状腺刺激ホルモン(TSH)に加え、甲状腺ホルモン(FT3、FT4)を検査し、甲状腺機能を調べます。
糖尿病	空腹時血糖		○	○	空腹時の血液中のブドウ糖濃度を測定します。
	HbA1c		○	○	過去1～2ヶ月の平均的な血糖の状態を反映します。
血球系	白血球数		○	○	細菌の感染、炎症があると増加します。
	赤血球数		○	○	貧血等の有無を調べます。
	ヘモグロビン		○	○	血液中の赤血球に含まれる血色素(血液の赤さの元)の量。
	ヘマトクリット		○	○	血液中の赤血球の割合。
	血小板数		○	○	出血を止める働きをする血小板の量。
	血液像		○	○	白血球に含まれるいろいろな種類の細胞を調べます。
眼科	視力検査		○	○	
	細隙灯顕微鏡検査(前眼部)		○	○	白内障、結膜炎等の有無を調べます。
	細隙灯顕微鏡検査(後眼部)		—	○	
	精密眼圧測定		△	○	眼球の硬さを測定し、眼球の内圧を調べます。
	精密眼底検査		○	○	全身の血管の中で唯一血管を直視できる眼底を調べることで、動脈硬化や高血圧の状態をみます。
歯科	歯周病検診		△	△	パノラマ撮影・視診により、虫歯・歯肉炎・歯周病の有無を調べます。
外科	診察	女性	△	○	乳腺・甲状腺の視診・触診。
	乳房X線撮影 (マンモグラフィ)				乳房専用のX線撮影法で、触診ではわかりにくい小さなしこりの発見に有効です。
婦人科	内診・超音波検査	女性	△	○	卵巣・子宮の疾患の有無を調べます。子宮入口の細胞を採取し、子宮頸がんの有無を調べます。
	子宮頸部細胞診検査				
	子宮体部細胞診検査	女性	△	△	子宮奥の細胞を採取し、子宮体がんの有無を調べます。
	HPV検査	女性	△	△	ヒトパピローマウイルス感染の有無を調べます。
前立腺特異抗原検査		男性	△	○	血液検査により、前立腺疾患の有無を調べます。
耳鼻科	聴力検査		○	○	中音域と高音域での聴力検査です。
	耳鼻科診察		△	△	耳鼻科医師が診察し、耳・鼻・のどの疾患の有無を調べます。
	喉頭ファイバースコープ検査		△	△	内視鏡を用い、炎症や喉頭がん等の腫瘍の有無を調べます。
肝炎	HBs抗原検査		△	○	B型肝炎ウイルス感染の有無を調べます。
	HCV抗体検査		△	○	C型肝炎ウイルス感染の有無を調べます。
CAVI/ABI検査			△	△	両腕と両足首の血圧・脈を測定し、動脈の詰まり・弾力性を調べます。
骨密度検査			△	△	X線検査で骨の密度を測定し、骨粗しょう症の有無を調べます。